

中津川市土砂災害ハザードマップの手引き

—— 土砂災害にそなえて !! ——

● 土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると求められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

● 特定の開発行為に対する許可制

住宅宅地分譲や、老人ホーム、病院など災害時要援護者関連施設の建築を行う場合の開発行為には許可が必要です。

● 建築物の構造規制

想定される衝撃にたいし、建築物が安全であるかどうか建築確認がされます。

● 建築物の移転勧告

著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。なお、移転される方には融資や資金の確保などの支援措置があります。

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

土砂災害のおそれがある区域

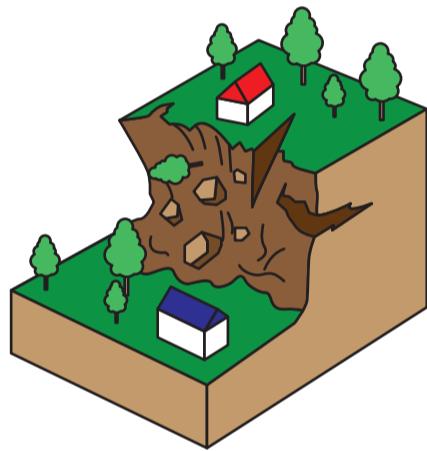
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

● 警戒避難体制の整備

土砂災害から生命を守るために、災害情報の伝達や避難が早くできるように警戒避難体制の整備が図られます。

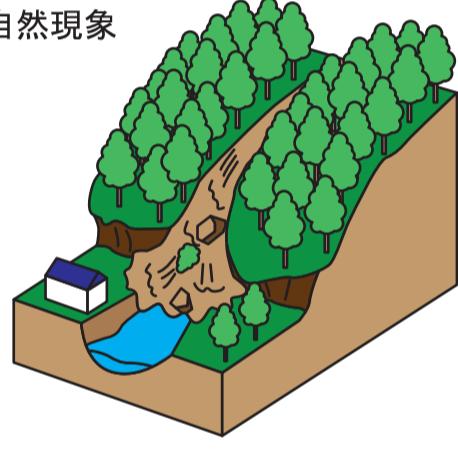
がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

雨や雪どけ水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる自然現象



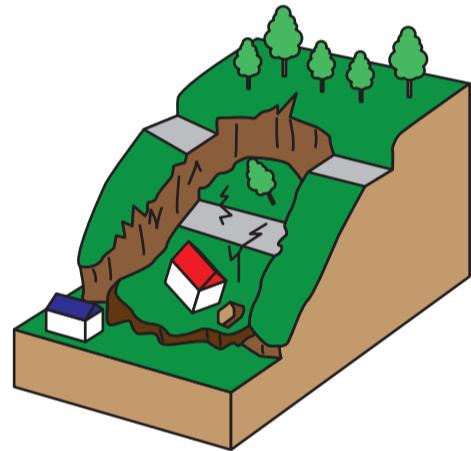
土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る自然現象



地すべり

雨や雪どけ水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す自然現象



前兆現象に注意しましょう !!

- ・がけに割れ目が見える
- ・がけから水がわき出ている
- ・がけから小石がパラパラと落ちてくる

- ・急に川の流れが濁り流木が混ざっている
- ・山なりがする
- ・雨が降り続いているのに川の水位が下がる

- ・沢や井戸の水が濁る
- ・地面にひび割れができる
- ・斜面から水がふき出す

● 事前に確認しよう !

ハザードマップ上で自宅と避難所を確認しましょう

- ・自宅と避難所の位置を確認しましょう。
- ・自宅付近に危険箇所がないか確認しましょう。
- ・自宅から避難場所までの避難経路をマップに書き込みましょう。

※避難経路を考えるにあたって注意すること

- ・2種類以上の複数の避難経路を確認しましょう。
- ・大雨または、土砂災害によって通行止めになる恐れがある道路は避けましょう。

みんなで協力して守りましょう

- ・いざというとき、助け合うことができるよう、日頃からの付き合いを大切にしましょう。
- ・災害発生時に避難行動など臨機応変に対応する事が難しい人（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦、外国人等）の身の安全を守るために、地域で協力できる体制をつくっておきましょう。
- ・防災についての知識を身につけるため、防災訓練や講習会などを行いましょう。

避難時の持ち出し品を確認しましょう

- ・避難時の持ち出し品は日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしましょう。
- ・持ち出し品は、必要最低限にしましょう。

避難時の持ち出し品チェックリストに記入しましょう

避難の心得

1. 安全な避難路を確認しましょう
2. 避難時の持ち出し品の事前準備をしておきましょう
3. 正確な情報を収集し早めに避難をしましょう
4. 避難の呼びかけがあった場合、速やかに避難をしましょう
5. お年寄りなどの避難に協力をしましょう
6. 2人以上で、動きやすい格好で避難をしましょう
7. 車での避難は控えましょう
8. 逃げ遅れたときには、丈夫な高い建物ににげましょう
9. 土砂と流れる方向とは直角に逃げましょう

Check



● 安全に避難しよう!

避難のタイミング (発令前でも危険を感じたら、自主的に避難しましょう)

避難準備情報

被害の発生する可能性が高い状況
お年寄り、子供など避難に時間を要する方は、早めに自主的に避難行動を開始してください。
避難を支援する方も、支援行動を開始してください。

避難勧告

被害の発生する可能性が明らかに高まった状況
安全な場所へ避難行動を開始してください。
避難が困難な場合は、建物の2階以上(斜面と反対の部屋)に緊急的に避難しましょう。

避難指示

被害の危険が押し迫った状況
安全な場所へ直ちに避難してください。
避難が困難な場合は、建物の2階以上(斜面と反対の部屋)に緊急的に避難しましょう。

情報の伝達経路

河川情報 (岐阜県)

ホームページ

気象情報 (気象庁)

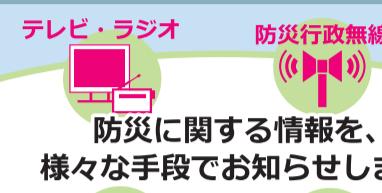
テレビ・ラジオ

避難情報 (中津川市)

テレビ・防災行政無線・広報車等



市民のみなさん



防災に関する情報を、
様々な手段でお知らせします

緊急速報メール

広報車・消防車

ホームページや携帯電話による防災情報

市民安全情報ネットワーク登録方法

携帯電話から「<http://bnnet.jp>」に
アクセスしてください



緊急速報メール

携帯電話に緊急情報を一斉配信するサービスです。
ご利用されている携帯電話会社にご確認ください。
受信できない方は「市民安全情報ネットワーク」
に登録してください。

岐阜県の防災関連ホームページ

岐阜県総合防災ポータル
<http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/>

岐阜県総合防災 検索

ぎふ土砂災害警戒情報ポータル
<http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/>

岐阜県土砂災害警戒 検索

岐阜県川の防災情報
<http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp>

岐阜県川の防災 検索

岐阜県浸水想定区域図ポータル
<http://www.pref.gifu.lg.jp/kendo/michi-kawa-sabo/kasen/suibo/shinsui-sotei.html>

岐阜県浸水想定 検索

集中豪雨に注意しましょう

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10~20mm	1時間に20~30mm	1時間に30~50mm	1時間に50~80mm	1時間に80mm以上
ザーザーと降る雨で、地面からの跳ね返りで足元が濡れます。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要です。	傘をさしていても濡れてしまう程のどしゃ降りです。側溝や小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まります。	バケツをひっくり返したような雨で、道路が川のようになります。山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要です。	滝のような雨が降り、水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなります。土石流が起こりやすく、多くの災害が発生します。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨です。大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

● 我が家の防災メモ

家族で話合って表に記入しましょう

避難場所 (大雨時)	□ ()	—	(地震時)	□ ()	—
離れ離れになった時の集合場所					
家族の名前	連絡先	会社・学校の連絡先	メモ		

避難時の持ち出し品チェックリスト

- 貴重品**
- 現金 (小銭を含む)※公衆電話用に10円玉、100円玉
 - 車や家の予備鍵
 - 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど
 - 銀行の口座番号、生命保険契約番号など
 - 健康保険証
 - 身分証明書 (運転免許証、パスポートなど)
 - 印鑑
 - 母子健康手帳

- 情報収集用品**
- 携帯電話 (充電器を含む)
 - 携帯ラジオ (予備電池を含む)
 - 家族の写真 (はぐれた時の確認用)
 - 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
 - 広域避難地図 (ポケット地図でも可)
 - 筆記用具

- 飲料水**
- 非常食
 - 飲料水

- 便利品**
- 防災ずきんかヘルメット
 - 懐中電灯 (予備電池を含む)
 - 笛やブザー (音を出して居場所を知らせるもの)
 - 万能ナイフ
 - 使い捨てカイロ
 - マスク
 - ビニール袋
 - アルミ製保温シート
 - 毛布
 - スリッパ
 - 軍手か皮手袋
 - マッチかライター
 - 給水袋
 - 雨具 (レインコート、長靴など)
 - レジャーシート
 - 簡易トイレ
 - わりばし・紙の皿やコップ
 - 携帯コンロ

- 清潔・健康用品**
- 救急セット
 - 常備薬、持病薬
 - タオル
 - トイレットペーパー
 - 着替え (下着を含む)
 - ウェットティッシュ

- その他**
- 紙おむつ (幼児用、高齢者用など)
 - 生理用品
 - 粉ミルク、哺乳瓶 (赤ちゃんに必要なもの)
 - その他自分の生活に欠かせないもの

お問い合わせ先



中津川市 中津川市 〒508-8501 岐阜県中津川市かやの木町2番1号

TEL: 0573-66-1111 FAX: 0573-65-5273

生活環境部 防災安全課 <http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/>

